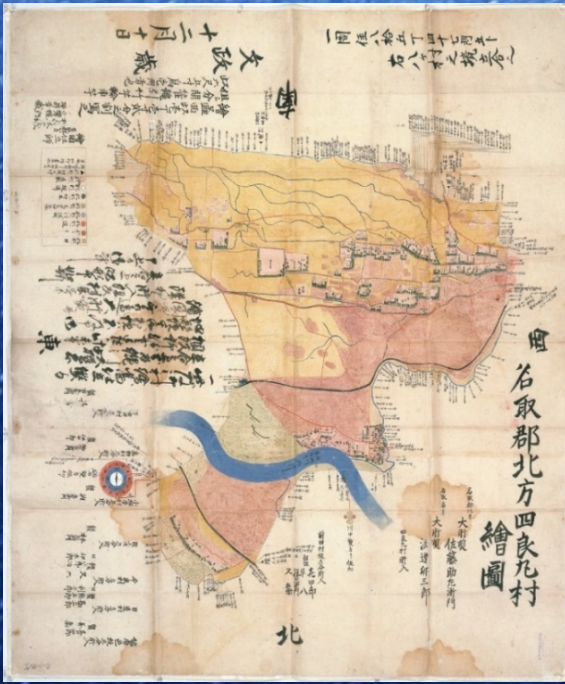


# 絵地図と星の ステキな関係



上「名取郡北方四郎丸村繪圖」文政5年（1822）頃  
下「御分領海岸図 夏 高城・牡鹿」嘉永6年（1853）（いずれも仙台市博物館所蔵）

絵地図と天文学には切っても切れない関係があります。絵地図の成り立ちについて、歴史と天文の視点から、博物館・図書館職員が対談形式で紹介します。

【講師】小石川 正弘（天文家・仙台市民図書館嘱託）

水野 沙織（仙台市博物館学芸員）

日時：10月26日（土）

13：30～15：00（開場 13：00 より）

定員：200名（先着順）

会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

申込不要（当日直接会場へお越しください）



象限儀（仙台市天文台所蔵）  
江戸時代に星の高度を測る時に使用されたもので、精密に測るための副尺が備えられている。

お問い合わせ

仙台市民図書館 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 TEL：022-261-1585 FAX：022-213-3524 <https://lib-ww.smt.city.sendai.jp/>